



APM 助教 柳 ボスル

- ・ 専門分野：
経営学、マーケティング
- ・ 科目：
マーケティング・リサーチ
マーケティング入門
スタディスキル・アカデミック
ライティング (SSAW)

2021年5月時点

Tips

1. Youtube などの資料を用いることで
授業内容の実践的なケースを示す
2. 学生が実際に試すことができるように
理論と実践を組み合わせたアプローチ
をとる

Q. どの授業の設計に最も力を入れて いますか？

A. 私は「マーケティング・リサーチ」の授業設計に多くの時間を費やしています。このクラスには2、3年生を中心に150人ほどの学生が受講しており、授業では「T+P(Theory+Practice Approach)」という手法をとっています。最初の30分はPPTスライドを使って理論的な説明を行い、残りの60分で実践的なアプローチを行います。演習では、マーケティング授業専用のデータ分析ソフトを使って、有名企業のマーケティングデータを分析・解釈します。その際は学生が授業に積極的に参加できるように、また取り残される学生がいないように小グループに分かれて行います。少人数のグループでは、学生同士でデータ分析の結果を比較し、データに意味を持たせることができます。また、この過程で学生た

ちのピア・ツー・ピア学習を促進することができます。このように新しい概念や教材の内容?について少人数で一緒に取り組み、教え教え合うことで、新たな視野や知識を獲得できる有意義な学びを生み出すことができると考えています。

Q. 授業では、学生の学びの質を高めるためにどのような工夫をしていますか？

A. 私の工夫は「プロセスから結果を生み出す」というアプローチに表れています。

ブレインストーミング

授業で質の高い学習を実現するためのプロセスとして、まず、ディスカッションの前に個人でブレインストーミングする時間を設けます。

オープンディスカッションに参加する前にブレインストーミングをすることで、他の学生の意見に触れる前に自分の考えを深めることができ、オープンディスカッションの質も向上すると考えています。

オープンディスカッション

オープンディスカッションでは、すべての学生に少グループに参加してもらい、他の学生と関わる機会を作っています。この段階では、学生同士が互いのアイデアや意見を交換し教え合うピア・ツー・ピアの学習プロセスを取っています。授業内で出した問いについて、専門家による解決策や解答を提示する前に、あらかじめ学生に問題解決の姿勢を意識させることで、活発な議論ができるようにしています。

ソリューション

学生の意見を聞いた後は、専門家の意見や解決策を提示しつつ、私もクラスの議論に加わります。そうして問題に対する理論的な解決策を提示し、YouTube動画などの資料を用いて実際の例を挙げながら授業内容の理解を深めていきます。

このようにブレインストーミング、オープンディスカッション、ソリューションという学習プロセスの3つの段階を経て、学生がディスカッションで到達したソリューションの質に応じて、このプロセスの「最終結果」を評価しフィードバックを行っています。

Q. 学生のモチベーションをあげるために何をしていますか？

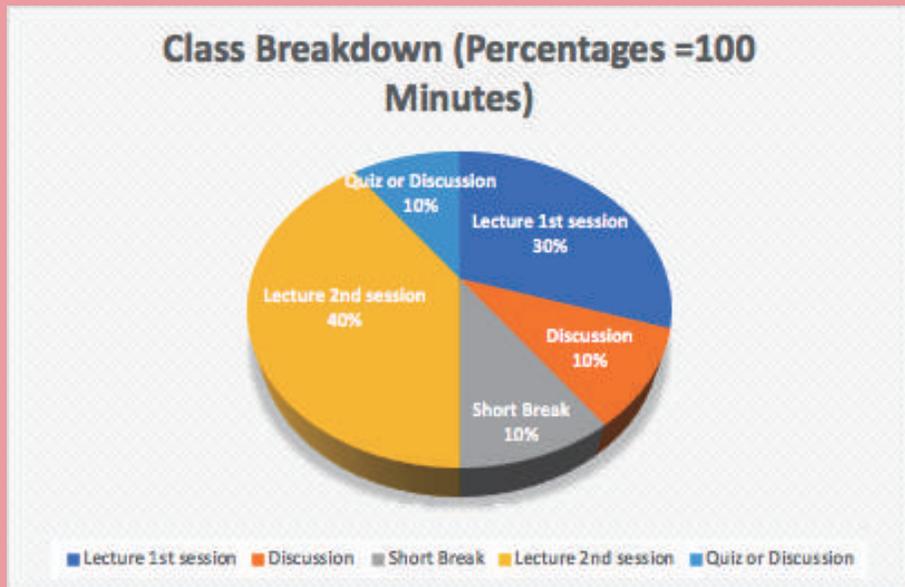
A. まず、学生の積極的な参加を促すために、下図のような授業構成にしています。授業の前半は、30分間の講義、10分間のディスカッションの後、5分の休憩を挟みます。後半は、40分間の講義、10分間のクイズまたはディスカッション、質疑応答という構成になっています。これまでの経験から、学生が積極的に参加できる授業構成にしたほうが、より学生の学びにとって効果的であることがわかりました。

2つ目は、Zoomのチャット機能を使ったオープンディスカッションで、学生のモチベーションを高めています。学生の好きなタイミングで授業のトピックについて自由に話したり、意見を述べたりできるようにしています。また、大人数のクラスでは学生を小グループに分け、ワークシートに沿った課題を行ったり学同士の相互評価を提出したりすることで、学生

のモチベーションを高めることができ、とても効果的です。

3つ目に、YouTube動画などのメディア、授業中のクイズ、質疑応答、ピア・ツー・ピアのディスカッションなど、多様なツールを活用しています。クラス内での「ボーナスポイント」クイズは、学生に少しでも関心を持たせるために活用しています。また、授業に関連した質問をたくさん投げかけ、テーマについて深く考えてもらうようにしています。それに加え、学生同士でディスカッションを行うことで、意見を交換したり、授業内容に関連する問題を一緒に解決したりする場を設けています。このようなインタラクティブな授業の仕組みを作ることで、学習のモチベーションを高める知的な刺激を与えることができると考えています。

100分授業中のグループワークの割合



MS: Adapting to the Fast-Changing Environment

- **Struggling in a Fast-Changing Digital Marketing Environment**

Microsoft is making **fresh moves** to reestablish itself

- Before 2000s, MS achieved a huge success of Windows.
- In 2000s, **PC sales growth flattened** and the **new digital devices** and technologies appeared.
- These new devices don't use the old MS software.
- Recently, Microsoft has begun a **dramatic transformation** to reestablish itself as an essential brand in fast-changing digital marketing environment.

Q. 教育で大切なことは何だと思えますか？

1. 基礎知識の教育

大学に入学したすべての学生にとって、知識は非常に重要なものです。特に、基礎的な知識を確実に学生に身に付けてもらうことは重要です。学生はできる限り多くの知識を吸収しなければならず、その学習プロセスには講師と学生の両方が関わっており、知識吸収の過程では、学生と教師の双方が努力する必要があります。

2. 知識の実生活への応用

基礎的な知識を得るだけでなく、それを日常生活や自分の将来に応用できるかどうかは、学生にとって特に重要です。学生は、授業で

学んだ知識を日常生活の中で応用する能力を確実に身につけることが求められます。最初のステップとして、APUで開催されているビジネス・ケース・コンペティションに参加して、授業の概念を適用する経験を積んでみるのも良いと思います。実際に自分が参加することで、学んだ知識を実生活で応用する方法を身に付けることができます。

3. インタラクティブなコミュニケーション

インタラクティブなコミュニケーションによって、アイデアを共有したり、情報を交換したりする場を活性化させることで、マーケティング概念の理解は広がります。授業への参加、グループディスカッションへの参加、課題の達成、授業内容の把握などを通じたインタラクティブなコミュニケーションができることは、地域社会や世界に変化をもたらすことのできる

APU生の模範的な姿だと思っています。

Q. あなたの授業を受ける学生に期待することは何ですか？

1. 勤勉であること

学生のみなさんは勤勉であって欲しいと思います。勤勉とは、授業内容を把握し、期限内に課題を提出し、提示されたクラスの問題の解決策を見つける熱意を持つことです。大学とは、学び、知識を得るための場所であり、そのプロセス全体において勉学に勤しんでください。

2. 他者を尊敬・尊重すること

友人、クラスメート、TA、教授、他の教職員など、すべての人に敬意を払うことは、グローバ

ル市民としての理想的な姿です。APUには様々なバックグラウンドを持った人々が集まっていますが、互いに尊重し合い、自分の意見や考えを発信できる場であることが大切です。

3. 情熱を持つこと

自分の目標に対して情熱を持ち、その目標を達成するために努力して欲しいです。APUのスローガンである"Shaping your world"は、個人的な目標を達成することから始まり、そこから世界の問題を解決するために活動するグローバル市民へと連なっていくものです。まず個人単位の行動目標から達成していく努力を惜しまないでください。

インタビューの感想

私はAPUに入学して3セメスター目に柳先生の「マーケティング入門」の授業を受けました。マーケティング入門では、SWOT分析などのマーケティング理論を紹介し、とてもインタラクティブでエネルギッシュな授業でした。SWOT分析ツールは、ビジネスに不可欠な要素であり、ビジネスの強み、弱み、機会、脅威を分析するのに役立ちます。また、YouTubeで日立やGoogleなどの企業の生産工程やマーケティングCMを見ることで、理解が難しかったビジネスアイデアを概念として具現化することができました。受講終了時には、マーケティングの知識を得ることができたうえ、友好関係も広がり、授業で行ったグループ活動の成果であると実感しています。

「Q」とは

APUで素晴らしい授業を行っている先生方はたくさんいらっしゃいますが、先生方が授業中にどのような工夫をしているのか知ることができれば、他の先生の授業改善にも役立つ。そのために、インタビューをして授業の工夫を教えてもらいたい、ということで始めた取り組みです。この記事は、授業の「Quality=質」を高める、質を高めるための「Question=問」に答える、授業改善の「Queue=列」をなす、など、色々な意味を込めて「Q」と名付けました。先生方の授業の質向上の「Quest」に役立てられると幸いです。

